

自動車メーカーの技術学ぶ

光星高専攻科 マツダがセミナー

八戸

八戸学院光星高専攻科自動車科(橋場保人校長)で12日、自動車メーカー・マツダと関連会社2社から技術を教わるセミナーがあり、学生16人が、自動車整備士に必要なことを学んだ。

マツダは、整備士を目指す学生のサポートをする目的で、全国の学校でセミナーを開いている。こ

の日は持ち込まれたマツダ車3台を見ながら、モーターなどの最新技術の説明を受けたり、整備士が点検デモをする様子を見たりした。自動車整備士になるために必要なことを真剣に質問する学生も多くいた。

1年の武内一騎さん(18)は「小さい頃から昔の車種が好きだったが、最新の技術を見て

ハイブリッド車などにも興味が出た。走る喜びを届けられる整備士になりたい」と語った。(佐藤雄)



マツダ車に触れる自動車科の学生